

グリーンアルファ

令和7年1月1日発行

第139号



トラスト5号地（宮代町）



森林の保全管理 ～緑のトラスト保全地の未来に向けて～

埼玉県を保全するうえでナラ枯れが脅威になっています。ナラ枯れはブナ科樹木萎凋病といわれ、カシノナガキクイムシ（以下カシナガ）が媒介するナラ菌により通水障害が生じ枯れるものです。ブナ科樹木でもブナ等の樹液流出量が多い樹種ではカシナガが繁殖できず枯れません。ミズナラやコナラは被害を受けやすく、特に大径化した樹木はカシナガが繁殖しやすく枯れやすいと言われています。県内のナラ枯れは令和元年に県南で発生し、現在全県に被害が広がっています。緑のトラスト保全地も同様に被害を受け、ボランティアスタッフが被害調査や防除対策・伐採処理を中心に保全管理を行っています。

緑のトラスト保全地がある平地林について考えてみます。平地林は武蔵野の雑木林ともいわれ、江戸時代の新田開発にともない薪炭林や落ち葉を堆肥に利用する農用林として維持されました。樹木は15～20年ぐらいで伐採して萌芽更新（伐採した切株からの萌芽を育て育林する方法）により林を再生してきました。伐採したまま手が入らなければ、ススキやササの草原へ、次に灌木が混在しアカマツ、コナラ等の陽樹林となりさらに経過すると常緑のカシ類、シイ類の照葉樹林に移り安定します。この遷移を人為的に阻止し維持してきたのが武蔵野の雑木林、全国的には

里山と呼ばれています。この適度な人の介入と管理によって動植物が増え生物多様性の高い環境が形成されました。

しかし、1960年代の燃料革命や化学肥料への転換により、平地林は放置されて大径化したアカマツ、コナラ・クヌギ林となりました。しかし、松くい虫被害により多くのアカマツが消え、今ナラ枯れにより大径化したコナラ、クヌギ等も失われようとしています。

ナラ枯れによる高層のコナラやクヌギの消失は、被圧されていた中層、下層の広葉樹や針葉樹の成長、ドングリから出芽したコナラやクヌギの幼樹の成長、キンラン、リンドウ、ヤマユリ等の復活をもたらす可能性があります。武蔵野の雑木林を復活させる広葉樹植栽（高齢やナラ枯れの切株では萌芽更新は望めません）など、多様な空間の創出も考えられます。

ナラ枯れを大きな転換期と捉え、将来どのような森林にするかを展望して保全管理を進めれば、訪れる方々に自然や生き物とふれあいながら憩いと安らぎをもたらす、すばらしい緑のトラスト保全地になっていくのではないのでしょうか。

最後に、より良い未来（みらい）に向けて皆様のご多幸をお祈りいたします。

（公財）さいたま緑のトラスト協会
理事 安井 敏晃

イベントのお知らせ

トラス
3号地

狭山湖とトラスト樹林地の冬鳥観察会

2月15日(土) 9時30分～14時30分
(雨天中止)

集合場所 西武狭山線西武球場前駅 9:20

持参 昼食、敷物など

協会員 無料 一般 300円

30人申込順 締切2月10日(月)

▶狭山湖とトラスト保全地で冬の野鳥観察を開催。

申込 トラスト協会事務局まで Web 又はお電話



【対象】

中学生以上。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】

<共通> 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴でご参加ください。

<冬鳥観察会> 双眼鏡などの観察用具、雨具、帽子

<コマ打ち体験> 軍手、作業靴、帽子

トラス
3号地

トラスト地散策とシイタケのコマ打ちを楽しもう

3月1日(土) 10時～14時

作ったシイタケの原木はお一人様1本お持ち帰りいただけます。

集合場所 下記の2つから選択

①東武東上線武蔵嵐山駅改札口 9:00

②JA埼玉中央嵐山農産物直売所 9:15

持参 昼食、敷物など

協会員 600円 一般 800円

40人(抽選) 2月12日(水)消印有効



申込 往復はがきに①代表者名 ②グループ全員の名前(学年) ③住所 ④電話番号 ⑤会員/一般の別 ⑥集合場所を明記し、協会まで送付。申込締切後抽選の上、返信はがきにてご案内いたします。

各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。

申し込みはこちら→



第25回 さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール入賞作品展示会

2月6日(木)～2月13日(木) 8時30分～17時(ただし、初日は14:30から、最終日は12:00まで)

場所 大宮第二公園 公園ギャラリー さいたま市大宮区寿能町2-405 ☎048-642-2228 参加費 無料

開催報告

令和6年度

緑のボランティアセミナー・会員の集い(公開講座)



セミナー修了式



会員の集い

11月16日(土)、令和6年度ボランティアセミナー最終日を兼ねた「会員の集い」が埼玉会館で開催。会員、ボランティアスタッフ等約40名にご参加いただきました。今年度は6名の受講生が全課程を受講し、太田理事長より修了証書を授与されました。

ボランティアセミナー 今回はトラスト3号地で実施予定であった間伐実技は、雨天のため座学となりましたが、予定どおり全6回を開催することができました。受講生全員が各号地のボランティアスタッフに登録されましたので、今後は実践でスキルを磨いていただきたいと思います。

公開講座 午前中は当協会の牧野副理事長から「トラスト保全活動はSDGsにどの様に関連づけられるか」、安井理事から「埼玉の森林の現状と森林保全」というテーマで、非常に参考になる講義がありました。午後は太田理事長から「持続可能な社会での森林・里山・里地」と題して、森林飽和の現在日本において生物多様性保全には継続的な人間の働きかけが重要であることや、中心となってきたこれら森林認証制度など広範な内容の講話がありました。

交流会 軽食を交えて、日頃お会いできないメンバーとの情報交換が活発におこなわれました。



ナラ枯れ被害木伐採跡地の今

2020年に被害を受けた木を全て伐採しました。
4年経った伐採跡地には実生から育ったエノキやムクノキが
大きく成長して、若い雑木林になりつつあります。



ナラ枯れで枯れたコナラ

12号地は現在三十四名のボランティアスタッフで森を守っており、月二回の活動で従来は下草刈りを中心に活動してきました。しかしここ数年のナラ枯れ被害でその活動内容は大きく変わりました。枯れ木の伐採とその後の幹や枝の片付けが中心になり、草刈りを行う時間が取れず、太陽の光を十分に浴びた下草が伸び放題の状態です。伐採やその後の作業は、高齢者の多いボランティアの活動では難しくなってきました。この森は元の藪山に戻りましたが、一方で実生から育ったエノキやムクノキ等の樹木が大きく成長し、若い雑木林になりつつあります。変遷する自然の力強い動きを観ることもできますので、是非来られてご覧になってください。

12号地ボランティアスタッフ
代表 黒須 勇

マイマイカブリ (Carabus blaptoides)



タツミ 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫大好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけています。

マイマイカブリとは面白い名前ですね。マイマイとはカタツムリのこと、カタツムリにかぶりつく（食べる）ことからこの名前がついたようです。この虫はオサムシ科の甲虫の一種です。オサムシ科の虫の多くは飛ぶことができず、地表を歩き回っています。そのため遠くに移動することができず、その地域で独自の進化をしてその地域特有の色や形になる地理的変異も多く、オサムシの魅力の一つになっています。漫画家の手塚治虫氏はオサムシが大好きでペンネームをオサム（治虫）にしたという逸話もありますね。愛好家の多い虫の一つです。

最近は雑木林でカタツムリが減少しているためか、マイマイカブリも数が減ってきているようで残念です。マイマイカブリは夏に見る機会が多い昆虫で、夏休みの夜間観察会などでカブトムシと共に樹液にきているマイマイカブリに出会うことも多いですが、成虫で冬を越すので冬でも見る機会があります。真冬の雑木林で崖の土や林床の地面を掘ってオサムシを探すことを愛好者は「オサ堀り」と呼ぶそうですが、わざわざ「オサ堀り」をしなくても、トラストのボランティアなら冬に雑木林の保全活動などで朽ち木の片づけなどをしてしていると、越冬中のマイマイカブリに出会うことができますよ。

(塘 久夫)



樹幹を歩く夏のマイマイカブリ



越冬中のマイマイカブリ

トラス全保1号地が自然共生サイト(環境省)に認定されました

ネイチャーポジティブの実現や30by30目標の達成に貢献するものとして環境省が認定する「自然共生サイト」にトラス全保1号地が認定されました。

埼玉県が申請者となる初めての認定になります。

10月21日に環境省・関東地方環境事務所において認定証授与式があり、高橋・みどり自然課長と梶間・1号地代表兼トラス協会常務理事が出席いたしました。

【自然共生サイトHP】

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>



自然共生サイト認定
30by30



開催報告



自然に親しむ会



竹の伐採体験

12月7日(土)、トラス全保1号地(さいたま市緑区)にて竹林の伐採体験が行われました。参加者は52名。伐採後はその竹材を利用した花瓶・コップ作りも楽しめました。



綾瀬川周辺の冬鳥を探そう

12月8日(日)、トラス全保7号地(さいたま市岩槻区)小川原家屋敷林をスタート。綾瀬川周辺から春野園書館にかけて、冬鳥の観察会を行いました。参加者は12名。チェックシートを使っの周遊ですが、直接観察できたもの、鳴き声だけのものを合わせて26種類の冬鳥が確認できました。



トラス全保の新しい寄附の仕組み

「クリック募金」を始めました。

埼玉みどりのポータルサイト上にある協賛企業のバナーをクリックして閲覧することにより、あなたの代わりに協賛企業が「さいたま緑のトラス全保」に寄附します。

- 1クリックにつき5円寄附できます ●協賛企業も募集中です！みどり自然課までお問合せください

▼早速クリックしてトラス全保運動に協力▼

【クリック募金HP】 <https://midorinoportal.pref.saitama.lg.jp/click/>

【問合せ先】 埼玉みどり自然課 みどり全保・総合調整担当

TEL: 048-830-3150 MAIL: a3140-11@pref.saitama.lg.jp



協賛企業募集中



さいたま緑のトラス全保基金への大口寄附者 (10万円以上、令和6年9月から11月)

矢部 達哉	株式会社 コーエイクリーン	株式会社 ホレスト
株式会社 システムアドバンス	株式会社 東建ジオテック	株式会社 シクラ興産
株式会社 ジアスホールディングス	吉村造園株式会社	税理士法人 大久保会計
株式会社 東栄	株式会社 新光工業	埼玉県信用金庫
鴻巣花き株式会社	公益社団法人 埼玉県地産物取引推進協会	マテリアルエード株式会社
株式会社 リプロ	東明興業株式会社	他匿名希望2個人、4法人
新和環境株式会社	日興サービス株式会社	
株式会社 コーエイサービス	株式会社 内山商事	

[敬称略]



さいたま緑のトラス全保協会への大口寄附者 (5万円以上、令和6年9月から11月)

学校法人 城西大学 スパル用品株式会社 [敬称略]



新しく会員になられた方々 (令和6年9月から11月)

【個人】6人 [敬称略]
【法人】
雨間造園土木株式会社 税理士法人 朝日会計社
株式会社 だいね [敬称略]

<会員数(11月末現在)> 1,375人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラス全保協会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内

電話▶ 048(824)3661 ファックス▶ 048(832)0292

ホームページ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>

メール▶ main@saitama-greenerytrust.com

当協会に寄附金をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。

詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
家族	家族(一括納入)	1人	15,000円
	1家族		3,000円
法人	1口		10,000円

※会費はインターネットバンキングからの振込でもできます



トラス全保運動に御支援いただきありがとうございます。